



なんぶ

# 議会だより

第62号

令和元年12月議会  
発行/令和2年2月

## コウノトリも

## 移住定住

- 新年ごあいさつ ..... 2
- 12月議会報告 ..... 3
- 一般質問ダイジェスト ..... 6
- 議員活動日誌 ..... 11

- 西伯病院 ..... 12
- 直撃インタビュー ..... 13
- 議会改革調査特別委員会 ..... 14
- あとがき ..... 16



# 12月議会報告

令和元年12月定例会は12月6日から18日までの13日間の会期で開催されました。本議会では初日議決の南部町教育委員長並びに教育委員の任命、公民館さいはく分館解体工事の契約締結のほか、条例7件、指定管理者の指定5件、一般会計他の補正予算3件と協議1件が執行部より提案され、いずれも原案通り可決承認しました。

また、公立・公的病院名の公表の撤回と地域医療の堅持を求める意見書案他3件の意見書案と地方行政調査特別委員会設置が議員発議により提案され、採決を行ないました。

## 補正予算

### 一般会計補正予算の審査結果

令和元年度一般会計補正予算…………… **全会一致で可決**

#### 主な事業

#### 児童措置事務費

補正額…**505万1千円**

年度途中から広域入所者が増えたため

#### 障がい児者通所支援事業

補正額…**385万2千円**

障がい児施設への利用者増に伴う

#### 汗かく農業者支援事業

補正額…**101万円**

小規模農業者の農業改良、施設整備の申請が増えたため

#### 農業水路等長寿命化

##### ・防災減災事業

補正額…**380万円**

豪雨で土砂堆積により水路機能の低下が度々生じているため



#### 町道諸木丸山線改良事業

補正額…**600万円**

円山地区（東側）の側溝修繕の水路断面の見直しによる



#### 道路橋梁災害復旧工事

補正額

…**2,299万9千円**

9月豪雨により被災を受けた町道の復旧工事



この他、以下の補正予算案については、全会一致で可決承認しました。

●令和元年度南部町国民健康保険事業特別会計補正予算

●令和元年度南部町水道事業会計補正予算

**全会一致で可決**



副議長  
井田 章 雄



議長  
秦 伊 知 郎



新年  
ごあいさつ

新年あけましておめでとうございます。皆様には、輝かしい新春をご健勝にてお迎えになられたことを、心よりお慶び申し上げます。

昨年は、約200年ぶりの生前退位による皇位継承が行われ、令和の新しい時代がスタートしました。

今年は、1964年以来半世紀を経て再び日本でオリンピック・パラリンピックが開催されます。子どもたちが未来に向かって、夢を見ることができるよう素晴らしい大会になってほしいと思います。

穏やかな景気回復が続いていると言われていますが、地方においては、まだ厳しい経済状況が続く、また緊迫した国際情勢など国内外に多くの課題を抱えています。

南部町においても、人口減少、過疎化への対策と同時に、農林業、商工業の振興に、また厚生労働省から指摘された西伯病院の改革にどのように対応していくのか、行政と議会にとって大きな課題であると考えます。

昨年度は「青年議会」を開催いたしました。今年度は「住民の声をきく会」を開催する予定です。若い人、また多くの町民の皆様からの意見は議会活動に、町政に反映すべく努力してまいります。そして議会の役割である「行政の監視」と「政策の最終決定」に全力で取り組んでいきます。

これからの議会活動にあたり、町民の皆様のご支援とご協力をお願い申し上げます、ごあいさついたします。





## 指定管理者の指定

### 指定管理者の指定についての審査結果

5件の指定管理者の指定については、全て全会一致で可決承認しました。

- レストハウス・バーベキューハウス・・・鴨部まこも友遊会
- 南部町森林総合促進施設・・・南さいはく地域振興協議会
- 両長田ふれあい会館・・・南さいはく地域振興協議会
- 南部町立東西町コミュニティセンター・・・東西町地域振興協議会
- 南部町民体育館・・・南部町総合型地域スポーツクラブ

**全会一致  
で可決**

## 議員発議

### 発議案の審査結果

厚生年金制度への地方議会議員の加入を求める意見書

**賛成多数で採択**

**討論**

**反対** 議員の年金制度は確かに必要だと思うが、それが無いから議員のなり手が無いとは考えられない。厚生年金に入れば議員の手取りが減るという問題も起こる。

**賛成** 幅広い層からの政治参加や、地方議会における人材確保の観点からも、厚生年金加入への法整備が求められていると思う。加入については自治体への交付税措置があり財政負担もないと考える。

| 発議名／議員名（議席番号順） | 加藤 | 荊尾 | 滝山 | 長束 | 白川 | 三鴨 | 仲田 | 板井 | 景山 | 細田 | 井田 | 亀尾 | 真壁 |
|----------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 賛否             | ×  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ×  | ×  |

日米貿易協定（FTA）の撤回を求める意見書

**賛成少数で不採択**

**討論**

**反対** 現在日本の農業は大きな潮目に向かっており、自由貿易に反対する人も少なくなったように思う。国内で生産した物が他国と同じ条件で競争できなければ、日本の屋台骨は大きく揺らいでいく。

**賛成** 日米FTAには反対だがアジアとの自由貿易には賛成する。この協定は農産品とデジタル分野だけが対象で、アメリカの対日貿易赤字削減が目的となっている。対等、平等ではなく、食物の自給率が更に下がる恐れがある。

| 発議名／議員名（議席番号順） | 加藤 | 荊尾 | 滝山 | 長束 | 白川 | 三鴨 | 仲田 | 板井 | 景山 | 細田 | 井田 | 亀尾 | 真壁 |
|----------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 賛否             | ○  | ×  | ×  | ×  | ×  | ×  | ×  | ×  | ×  | ×  | ×  | ○  | ○  |

この他、以下の3件の議員発議については、全会一致で可決承認しました。

- 公立・公的病院名の公表の撤回と地域医療の堅持を求める意見書（関連記事P12）
- 国民年金制度の抜本的改善を求める意見書
- 地方行政調査特別委員会の設置

**全会一致で可決**

## 条例

### 条例案の審査結果

南部町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の制定 **賛成多数で可決**

○地方自治法並びに地方公務員法の改正で、従来の非正規職員にかわり新たに会計年度任用職員が規定されたことにより、その勤務時間等の働き方や賃金等の処遇について定める条例を制定するもの。

**討論**

**反対** 同一労働同一賃金の実効性の確保が出来ていないこと。そして、非正規職員の固定化につながり、正規職員化の妨げになるのではないかと懸念があること。待遇改善につながることは賛成だが、その改善の程度が不十分であること。

**賛成** この条例が制定されれば、現在の非常勤職員の賃金、労働条件は大きな処遇改善となる。ボーナスも大きく増額し、従来1種から3種までだった格付けも5種までとなり上限額が引き上げられ、通勤手当も支給される。地域振興協議会の職員など、この条例が準用される多くの町関係職員の待遇改善にもつながる。

| 発議名／議員名（議席番号順） | 加藤 | 荊尾 | 滝山 | 長束 | 白川 | 三鴨 | 仲田 | 板井 | 景山 | 細田 | 井田 | 亀尾 | 真壁 |
|----------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 賛否             | ×  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ×  | ×  |

消費税及び地方消費税の税率改定等に伴う  
使用料の見直しに係る関係条例の整備に関する条例

**賛成多数で可決**

○消費税率の8%から10%への改定に伴い、町立の各施設の使用料にこの改定税率を反映させる改正条例。

**討論**

**反対** 複数の税率がある今回の消費税率改正は非常に複雑で不合理であり、税率改正そのものに反対である。町の施設については増税分を町が負担すべきで、値上げすれば利用者も少なくなると思う。指定管理者の不利益も町が負担すべき。

**賛成** 今回該当となる施設はほとんどが指定管理の施設である。そこにかかる電気代とか物品費にも影響が出る。心苦しいが、利用者にもこの部分の負担を求めるべきと考える。

| 発議名／議員名（議席番号順） | 加藤 | 荊尾 | 滝山 | 長束 | 白川 | 三鴨 | 仲田 | 板井 | 景山 | 細田 | 井田 | 亀尾 | 真壁 |
|----------------|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 賛否             | ×  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ○  | ×  | ×  |

この他、以下の5件の条例案については、全会一致で可決承認しました。

- 地方公務員法及び地方自治法の一部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の制定について
- 成年被後見人等の権利の制限に係る措置の適正化を図るための関係法律の整備に関する条例の制定について
- 南部町職員の給与に関する条例の一部改正について
- 南部町特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例の一部改正について
- 南部町家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部改正について

**全会一致  
で可決**



あなたの声を

# 町政に問う！



**【質問の通告】**  
一般質問は、議題と関係なく行財政全般にわたる議員主導による政策論議で、通告制で行っている。

**【一般質問の時間】**  
定例議会において行われ、南部町は議員からの質問時間は30分と定めている。町民皆様の声を町政に問います。

| 議員名 |      | 発言時間 | 質問事項 |                        |
|-----|------|------|------|------------------------|
| 1   | 細田元教 | 30   | 1    | 町政の具体的施策               |
|     |      |      | 2    | 西伯病院                   |
| 2   | 長束博信 | 30   | 1    | 防災対応                   |
|     |      |      | 2    | 人権課題                   |
| 3   | 荊尾芳之 | 30   | 1    | 農泊事業                   |
|     |      |      | 2    | 地域振興協議会                |
|     |      |      | 3    | 交通安全                   |
| 4   | 白川立真 | 30   | 1    | ひきこもり対策                |
|     |      |      | 2    | 不登校対策                  |
| 5   | 亀尾共三 | 30   | 1    | 地域の環境整備への支援            |
|     |      |      | 2    | 安心安全の暮らしへの支援           |
|     |      |      | 3    | 教育費の保護者負担の軽減           |
| 6   | 板井 隆 | 30   | 1    | 地域創生「なんぶ総合戦略」の検証と今後の展開 |
|     |      |      | 2    | 押しボタン式信号機設置            |
| 7   | 加藤 学 | 30   | 1    | 期日前投票所の設置              |
|     |      |      | 2    | 野良猫の不妊・去勢手術            |
|     |      |      | 3    | 水道料金                   |
| 8   | 仲田司朗 | 20   | 1    | 地域振興協議会                |
| 9   | 真壁容子 | 30   | 1    | 西伯病院問題を問う              |
|     |      |      | 2    | 町の地方創生事業を問う            |
|     |      |      | 3    | 女性活躍推進法に基づいた取り組みを問う    |
| 10  | 景山 浩 | 30   | 1    | 自治体SDGsと総合計画           |
|     |      |      | 2    | イノシシ解体処理施設             |

## 西伯病院の今後

細田元教 議員

Q 安心できる西伯病院の方向性は

A 地域医療の実践を継続する 病院事業管理者



**細田** 9月27日に厚生労働省から全国424病院名をあげ、病院の統廃合が病床数の削減を求めるマスコミ報道がなされた。その中に西伯病院も含まれており、町民は大変驚き、西伯病院は今後どうなるのか不安に包まれている。全国の知事会、市長会、町村会が厚生労働省を批判しているが国は一向に方向転換していない。その中で西伯病院は今後どのような方向で地域の病院を守っていくのか問う。

検討の必要性の検証を求めるとした。全国一斉に報じたところである。公立・公的病院だけを対象とし地域事情を全く無視し、病院が取り組んできた地域医療を否定された。

西伯病院は地域住民への安心の提供を基本理念とし、当院の使命は地域の医療水準の確保と地域住民の健康保持、生活維持の為に医療を提供する事である。今後は、町や議会と協議を重ねながら、地域住民の方々が必要とする時代に沿った良質な医療の提供を構築し、地域医療の実践を継続していく。



西伯病院内 回想療法・思い出街道

## 防災対応

長束博信 議員

Q どのような備えが重要と考えるか

A 地域の防災力を強くすること 自助、共助 町長



**長束** ①防災計画は作成してあるか、項目と概要は何か。又、見直しのタイミングはいつか。

②災害発生した場合、どのような備えが重要と考えているか。  
③災害発生前、発生後の避難計画は作成されているか。災害時に刻々と変化する状況を町民に對し、どの様に周知するのか。  
④災害時に弱者に対する非難訓練が必要だと考えるが見解は。

**町長** ①地域防災計画は平成30年4月に見直し、災害予防、震災対策、風水害対策、事故災害対策などの項目で構成している。平成30年7月豪雨、台風24号、令和元年台風15号、19号の教訓を生かし、来年3月には見直し案を作成する。

②災害が発生した場合には、想定外という状況が起きないため

の備えが必要と考えており、重要と考えるのは地域の防災力を強くすることである。公助だけでなく災害に備え立ち向かう意義や、自助、共助が重要と考えている。

③地域防災計画の災害予防編で、住民が準備することや震災、風水害では避難の際に必要なこと、災害発生した場合はどのように情報を得るのか、いつ、誰が何をするのか防災行動を準備している。状況変化については、防災行政無線、なんぶSANNチャンネル放送など発信に努める。避難の必要がある場合は、消防団、住民同士、近所の声掛けなど促していく。

④弱者の避難訓練については、私も同感だ。先の豪雨、台風でも高齢者や介護が必要な方、障がいのある方など、特に高齢者の被害者が多く発生している。「訓練できないことは実災害でも行動できない」の考え方から、避難訓練を実施することは必要だ。

## 地域振興協議会

荊尾芳之 議員

Q 地域振興協議会運営費の算定方法は

A 支援交付金の見直しを進める 町長



**荊尾** 地域振興協議会の設立から12年が経過し、地域振興協議会を取り巻く環境は大きく変化し、果たす役割も充足当時は様変わりしてきている。

これまでは、地域コミニティの形成を図る活動が主なものであったが、今は、新たな取り組みとして、災害への対応等の地域防災の役割が大変重要となっている。

法勝寺地域振興協議会は、全集落に防災リーダーを配置しその役割や業務について研修を行っている。

7つの地域振興協議会とも、地域防災についてそれぞれの地域の状況に応じた活動を行っている。

そして、この活動の財源は、町からの支援交付金が充てられている。

地域振興協議会支援交付金の基準となっている協議会の運営経

費、地域活動活性化経費、事務局員人件費についての算定方法及び人件費等の考え方について町長に問う。

**町長** 今後の少子高齢化、人口減少社会を見据えると地域振興協議会が担う役割を見直す必要がある。喫緊の課題としては、防災や福祉への対応が地域にとって避けられないものとして挙げられる。

これまで町から地域振興協議会に対する支援としては、法的には地域振興協議会設置条例があり、会長・副会長を町の非常勤特別職に任命し、財政的支援としては、各地域振興協議会に支援交付金を交付している。また、企画政策課にサポートスタッフを配置している。事務局員の人件費の算定は、町の非常勤職員の単価に準じているが、会計年度任用職員制度の移行に伴い、事務局員の人件費の算定も会計年度職員に準じて変更し、支援交付金の見直しを進める。



不登校対策

白川立真 議員

Q スクールカウンセラーの効果は

A 初期対応に高い効果がある

教育長



**白川** 思春期を迎える小学校高学年や中学校の児童生徒に、不登校になる傾向がある。スクールカウンセラーを配置したことでの効果を問う。

また、わが町の教育の柱に「生きる力」がテーマにある。近年、生きる道しるべを見失う子どもたちが少なからずいる。私たちは「なぜ生きるのか」というテーマを道徳教育の中でしっかり伝えてほしい。

**教育長** 心理療法の専門家であるスクールカウンセラーは、児童生徒へのカウンセリングと教職員や保護者への助言や援助を主な職務としている。

特に、遅刻が続いだした、友達とのトラブルにより学習に向き合えないなど、不登校につながりそうな初期対応において高

い効果がみられる。これまで適切なカウンセリングを行う事で不登校につながらなかったという例もあった。

今後もスクールカウンセラーを含め教職員一丸となって不登校ゼロに向かう指導や支援を続けていきたい。

これまでも「生きる」というテーマで道徳教育を行っている。このたび、教育課程が変わり道徳も教科化になるが、心に響くような道徳教育を進める中で「心の成長」は、非常に大きな力を持っていると考えている。



地域環境整備

亀尾共三 議員

Q 地域環境整備への支援を求める

A 現状でご理解いただくようお願いする 町長



**亀尾** 地域環境整備への支援を求め問う。近年多くの集落では、高齢化率の上昇と世帯数の減少が進んでいる。これまで続けられた、集落民が役目としての道路の軽い整備の役、あるいは草刈りで維持してきたが、その作業に困難を来たしているのが現状だ。集落に以前から暮らしている方、町外から移住された方からも、集落内役目の負担の軽減を求める多くの声を聞きます。町道、集落内に限らず、行政の支援を求めて聞く、

①草刈り、道路の補修の要望があったか。

②草刈り、道路の補修の支援の現状は。

③草刈り、道路の補修に行政の支援を求めるがどうか。

**町長** ①草刈り、道路補修の行政要望を頂いており、ふ

れあい道路サポート事業の燃料支援により集落等の関係者で行っていただけないかとお願いする。

②道路の補修の要望はいただいております。集落等の役目で出来ることは、生活道路改善支援事業で行っていただくことをお願いしたい。

③草刈り、道路補修は、集落周辺の生活に密着した道路等環境美化については、これまで同様に地域の皆さんで取り組んでいただくようお願いする。



なんぶ創生総合戦略

板井 隆 議員

Q 第2期総合戦略の展開は

A 地域の活性化と賑わい創出を進める 町長



**板井** 地方創生における、なんぶ創生総合戦略の五カ年の検証と、第2期総合戦略の取組みについて問う。

**町長** なんぶ創生総合戦略の4本の柱から、質問に答え

ます。

産業振興・雇用の創出について、商工業、農林業については、人口減少に伴う商工業者、農林業者の減少は進んでおり、企業誘致や起業支援、就農支援などにより、より一層注力したい。

移住・Uターンの推進について、なんぶ里山デザイン機構との連携で、空き家一括借り上げ事業、無料の就職紹介、新婚・子育て世帯への家賃補助など、さまざまな施策を展開し、一定の評価を得ている。今後、里山資源の魅力を一層活用した取り組みを進めたい。

少子化対策・子育て支援について、結婚から出産・子育てまで、切れ目のない支援サービスと若者就労者の安定した雇用や所得増加を図るため、起業への総合的な支援と企業誘致を推進したい。

地域の活力創出について、町民の安心・安全な暮らしを守るためには、自主防災組織の充実が必要である。地域ぐるみの防災意識の醸成をこれまで以上に図る必要がある。また、西伯病院を中心とした、医療・保険・福祉の機能連携の強化で町民の健康を守りたい。

人口減少や高齢化が進む中、地域の活性化と賑わい創出で、住み慣れた地域で暮らし続けたい町民の願いを叶えていきたい。



水道料金

加藤 学 議員

Q 4月以降の水道料金改定の見送りを求める

A 料金改定は必要不可欠 町長



**加藤** ①9月議会で水道料金の会計予測の事業収入、事業費用、営業収支の説明があった。それぞれの金額の確認を求める。

②事業収益の数値の計算方法は。

③4月以降値上げになる水道料金の確認を求める。

④値上げになった場合の会計の予測値を求める。

⑤値上げになった場合の金額はいくらか。

⑥4月以降の水道料金改定の見送りを求める。

**町長** ①事業収入は1億8,344万円。事業費用は2億837万円、収支の差はマイナス2,493万円。

②料金改定のシミュレーション同様過去3カ年の水道使用量の減少率から使用料の予測を立て、事業収益を計算した。

③令和2年度の料金改定の値上げ時期は年度をまたがない、5月と6月に使用されたものから、請求は7月から。一般家庭13ミリ口径の基本使用料は850円から900円。基本料金を越えて7トンから25トンまでが85円から117円となる。

④平成30年度給水収益は1億4,373万円に対して約20%増えて1億7,436万円を見込んでいる。

⑤一般家庭13ミリ口径の水道メーターで一カ月20トンの水道水を使用している場合、現在消費税込み2,244円から2,791円。547円の値上げとなる。

⑥平成29年3月議会で料金改定を伴う条例改正の承認を得ている。水道事業の継続と云う観点から料金改定は必要不可欠なもの。

一般質問



Q

交付金を今後増額する予定があるか

A

事務局員の人件費部分を増額する予定 町長



仲田 設置から12年が経過している地域振興協議会を問う。

①地域振興協議会の問題点や課題は。

②課題解決に向けて今後どのように解決しようとしているのか。

③地域振興区の交付金を今後増額する予定があるか。

④会長、副会長、集落支援員の報酬及び賃金の増額の予定はあるのか。

町長

①課題としては、組織の法人化である。現在の地域振興協議会は、設置条例に基づく任意団体であるため、法人格を有していない。問題が発生した時の責任所在が不明確な部分がある。

②自主財源の確保である。地域振興協議会発足時に掲げた住民の自己決定による地域づくりの目標を達成するための諸経費は、現在の

ところ、支援交付金による部分が大いのが実情である。

また、地域振興協議会の活動を担う人材の確保である。地域住民全体で目的を共有した上で事業展開し、その必要性を継続的に次の世代に呼び掛けていくことが重要である。そうすることで、次代の地域振興協議会の活動を担う人材が育つのではないかと考える。

③現在、地域振興協議会支援交付金の見直しを進めている。その中で、事務局員の人件費部分の待遇改善を予定しており、支援交付金を増額する予定である。

④会長、副会長、集落支援員の報酬及び賃金については、現在、会長、副会長は町の非常勤特別職に位置づけられており、条例で定められた報酬を支給している。集落支援員は、地域振興協議会の事務職員として、その報酬額の算定は町の非常勤職員の単価に準じて行っているが、令和2年度からの会計年度任用職員制度への移行に伴い、金銭的な待遇は改善される。

Q

自治体病院のあり方と町の責務をどう考えるか

A

「急性期は必ず守る」「病院を残す」これは責務だ 町長



真壁 厚労省は、昨年9月、全国1455の公立・公的病院のうち、診療実績が乏しいと判断した当町の西伯病院を含む424の病院名を公表した。

名指しをされた病院等の再編統合を促し、今後の医療費削減が狙いだ。この動きに県知事会などは病院名公表の撤回を求めている。公立病院の現状と地域医療の現実をかいまみない一方的な厚労省の姿勢に対し地元マスコミ等も地域軽視との声を上げている。

政府の地域軽視のありかたに抗議し、町が政府に対し、病院名公表の撤回の意思を示すことを求める。

自治体病院のあり方と町の責務をどのように考えているのか問う。

町長 西伯病院は、住民の健康づくりや疾病予防活動を地域と一体に取り組み、少子高齢化への対応を重要な施策課題とする町において重要な役割を担っている。機械的に全国一律の基準で、また、地域の実情を考慮せず再編、統合を進めることは、地域医療の崩壊につながり地域の活力の衰退を招くものと言わざるを得ない。公表自体も唐突で説明も不十分だ。国に対し、平井知事を代弁者として抗議、要望をしている。

医療は住民の安心のよりどころだ。病院が失われれば、人口流出と過疎化が進行しかねない。町民が必要とする医療を提供する責務が西伯病院にはあり、その維持、継続の最終責任は町にあると考えている。急性期は西伯病院のなかで必ず守る、これは私も院長も同感だ。病院を残す、そのためのできるだけの手だてはとる。病院は守る、これは責務だと思っている。

※「急性期」「病気の初期段階」容態変化の多い時期

Q

総合計画、総合戦略との関係は

A

適切な進捗管理がSDGs実現につながる 町長



景山 南部町では、地方の疲弊対策や町の消滅可能性回避のために、政府が唱え推進している地方創生に即して、多くの事業に取り組んできた。

最近、この地方創生に、新たに自治体版SDGsというキーワードが提起され、隣の日南町も森林や林業を活かした振興策で未来都市としての認定を受けている。

17ある持続可能な開発ゴールのうち、特に11番目の「住み続けられるまちづくり」は私たち南部町にとっても最重要課題である。

町行政の羅針盤である総合計画、総合戦略との関係、そしてバックキャスティングの捉え方について問う。

町長 SDGsとは、持続可能な開発目標の頭文字を

とったものであり、国連サミットで示された17分野の国際社会共通の目標である。

国際社会全体の開発目標であるSDGsとスケールは異なるものの、その方向性は重なり、総合計画を推進することがSDGs達成につながるものと考えている。人口が減少しても持続可能な南部町であるため、産業振興・雇用創出、移住・Uターン推進、少子化対策・子育て支援、地域の活力創出の4つの分野に重点を置き進めていきたい。

人口減少を前提に南部町を維持していくためには、バックキャスティングの考え方に沿って、毎年度総合計画や総合戦略の達成度に応じた取り組みの見直しという進捗管理を行なっていくことが5年後、10年後の目標ビジョンに近付くために重要と考えている。



議会活動日誌

| 10月 |    |                                     |
|-----|----|-------------------------------------|
| 日   | 曜日 | 会議・行事                               |
| 3   | 木  | 南部箕蚊屋広域連合議会地方行政調査                   |
| 4   | 金  | 南部箕蚊屋広域連合議会地方行政調査                   |
| 10  | 木  | 西部町村議会議長会連絡会                        |
| 16  | 水  | 議会改革特別委員会、全員協議会、総務経済常任委員会、民生教育常任委員会 |
| 23  | 水  | 全国町村議会議長会理事会                        |
| 24  | 木  | 全国町村議会議長会都道府県会長会                    |
| 28  | 月  | 鳥取県町村議会議長会役員行政調査                    |
| 29  | 火  | 鳥取県町村議会議長会役員行政調査                    |
| 30  | 水  | 鳥取県町村議会議長会役員行政調査                    |

| 11月 |    |                                                   |
|-----|----|---------------------------------------------------|
| 日   | 曜日 | 会議・行事                                             |
| 1   | 金  | 鳥取県町村議会議長会役員会、中海テレビ放送開局30周年記念式典                   |
| 6   | 水  | 令和元年度国際定期便利用促進協議会                                 |
| 12  | 火  | 米子道4車線化総決起大会                                      |
| 13  | 水  | 全国町村議会議長会創立70周年記念式典、第63回町村議長全国大会、令和元年度町村議会議長全国研修会 |

|    |   |                             |
|----|---|-----------------------------|
| 18 | 月 | 鳥取県町村議会議員研修会                |
| 19 | 火 | 議会運営委員会、総務経済常任委員会、民生教育常任委員会 |
| 22 | 金 | 西部広域行政管理組合議会定例会             |
| 25 | 月 | 町政に対する議会要望                  |
| 26 | 火 | 鳥取県町村議会女性議員研修会              |
| 28 | 木 | 第2回後期高齢者医療広域連合定例会           |
| 29 | 金 | 南部町商工会懇談会                   |

| 12月 |    |                        |
|-----|----|------------------------|
| 日   | 曜日 | 会議・行事                  |
| 6   | 金  | 定例議会 議会運営委員会・全員協議会・本会議 |
| 9   | 月  | 定例議会 一般質問              |
| 10  | 火  | 定例議会 一般質問              |
| 11  | 水  | 常任委員会                  |
| 12  | 木  | 常任委員会                  |
| 13  | 金  | 常任委員会                  |
| 16  | 月  | 常任委員会                  |
| 17  | 火  | 定例議会 議会運営委員会・全員協議会     |
| 18  | 水  | 定例議会 本会議               |
| 25  | 水  | 西部町村議会議長会連絡会議          |



# 挑戦する若者たち



## ゆくい (骨格バランス矯正)



代表 大塚まい さん(馬佐良)

**Q** 起業しようと思ったきっかけは

**A** 「整体」をもっと伝えたい

私自身、学生時代からどうにもできない節々の痛みに苦しんでいました。腰痛、生理痛、寝返りの時に走る痛みです。色々な治療をしても改善せず諦めかけていたところ、全日本整体師会会長の加藤辰雄先生に出会いました。そこから私の体は外も中もゆっくりと変化し、今はあの痛みが嘘のように元気に過ごしています。同じように様々な症状で苦しむ方に、「体が良くなるかもしれない一つの選択肢があることを伝えたい」と思い、先生のもとで学び整体師になりました。

**Q** 将来展望は

**A** 重心体操プログラム

私たちは重力の中でねじれ・歪みを作り上げながらバランスをとって生活をしています。その結果、どういう体になるのか考えたことあるでしょうか。私は、一人一人に合った日常生活での体の使い方を伝えたいと思います。わたしの目指す整体は、痛みをとる為の根本原因をみつけ、自分の体を自由に扱うことができるように、動く体へ変化させる日常に馴染むオリジナルな「重心体操プログラム」を発信していきたいと思っています。

問い合わせ先 090-1263-9615

施術をされる方や地域の方から、野菜などの差し入れがあり、この地域の方々の温かさを感じているとのこと。横浜から来られましたが、この南部町に馴染んでおられると感じました。(取材担当者)



## スプリット (整体・インソール作製)



代表 前谷涼子さん(福成)

**Q** 起業しようと思ったきっかけは

**A** 予防できることを多くの人に伝えたい

私は理学療法士として病院勤務をしていました。理学療法士とは、病気や怪我、事故などにより身体に障がいや不自由を抱えた人や高齢などにより身体機能が低下した人に対してリハビリテーションを行い回復のサポートをする仕事です。

毎日多くの相談を受ける中で、スポーツに関わる悩みも多くあり、視野を広げるためスポーツ医学(トレーナー)の勉強を始めました。そうした中で、大事に至る一歩手前で施術し予防できることをもっと多くの人に伝えたい、また適切なリハビリやスポーツトレーニングを知ってほしいと思い、思い切って独立しました。

**Q** 将来展望

**A** インソールを含めたシューズ指導

外反母趾など足の痛みで悩んでおられる方が多くおられます。足は体の土台であり、足のバランスが悪いと体の関節や筋肉が痛くなってきます。足元から健康を作る「足育」をすすめるなかで体と足のつながりを知って頂き、インソールを含めシューズや足元からの健康についての指導に力を入れていきたいと思っています。

さらに、一人一人に対応した生活の中でのマイナス要素を減らす発信や活動を行っていき、子供から大人まで、皆さんが健康寿命を延ばす一助になりたいと思います。

また、ご要望があれば健康体操や運動教室も企画してみたいです。体のお悩みがあればお気軽にご相談ください。

問い合わせ先 090-5691-5174

前谷さんは、プロバスケットチーム「ササノマジック」のトレーナーの経験もあり、スポーツでの悩みを持っている方に良きトレーナーだと思いました。(取材担当者)

# 西伯病院の今後の医療提供について

1月9日(木) 南部町議会議員と西伯病院高田照男院長と、意見交換会を行いました。

以下は、後日高田院長より、病院長の立場から南部町民の皆様へのメッセージをいただきました。

又、12月議会で「公立・公的病院の公表の撤回と地域医療の堅持を求める意見書」を全会一致で可決しました。

先ごろ厚生労働省によって、公立・公的医療機関の再編統合の必要性について、424病院が対象として公表され、その中に西伯病院も含まれました。地域住民の皆様、利用していただいている患者様、関係している多くの皆様に、大きな不安を生じさせたことに関し、誠に遺憾に感じている所であります。今回の公表の基準として、西伯病院が現在提供している急性期医療が「公立病院に求められる医療機能を満たしていない」というものでした。今後の西伯病院の提供する医療機能に関しましては、開設者の町長とも綿密に協議を進めている所であります。



西伯病院の理念は、「地域住民への安心の提供」であり、昭和26年開設当初から一貫して守ってきた使命であると信じています。医療を通じて安心を確保するためには、地域に病院があり続け、病気の時にはいつでも受診できる、ということが基本であると考えています。医療は時代とともに高度化し、そうした高度な医療を受けられる体制が鳥取県西部地域にも整備されていますが、そうした高度医療を担う病院との連携をさらに強化していく必要があります。高齢化が進む南部町にあって、高齢者の受療機会は高い比率を占めてくるものと考えています。身近に入院でき治療を受ける、病気の回復と並行してリハビリテーションを受ける、回復に時間のかかる慢性期の医療を受ける、といった従来西伯病院が展開してきた医療は、この地域に是非とも残したい機能であると考えています。在宅での安心を確保するために訪問看護部門も展開していますが、件数は年々増加の傾向を示していますので、この機能も将来にわたって残すべき重要な機能であると考えています。こうした機能を通じて、この地で地域包括医療・ケアの充実を図ることが西伯病院の存在の意味であろうと感じています。

一方で将来に迫る人口減に対しては、別に対策が必要であろうと考えています。これは病院運営だけではなく、地域の存続とも密接に結びついている課題であるように思えます。2040年には南部町の人口は8,000人を切るであろうと推測されていますが、そうした予測をもとに、病院規模に関しては更に検討をしていく必要があると感じています。地域の活性化なしに病院の活性化が図れるとは思えませんので、活気のある南部町であり続けて欲しいと切に願うところです。そのために健康を意識した医療提供や、住民意識が殊更重要になってくるテーマであろうと感じています。



西伯病院は町民皆様の病院ですから、これからも病院の理念に沿って「地域住民への安心の提供」を実現すべく運営したいと考えていますので、住民の皆様方には、一層のご理解とご支援をお願いする次第です。

南部町国民健康保険西伯病院 院長 高田 照男



## テーマ2「参加者自身に関すること」



- 1) 子どもが誇りに思う地域づくり
  - ・ 今回のような子どもや青年との会議の開催をしてほしい。
  - ① 大人が若者の意見を聞いて動き、守ってくれる。
  - ② 環境保護に町ぐるみで対応してほしい。
  - ③ 町の良さを若者に知ってもらう対応。
- 2) 教育・地域で子供を育てる教育環境を整えてほしい。
- 3) 「防災」の分野で地域を守れる人材になりたい
  - ・ 知識を得る環境の場を設定してほしい。
- 4) お互いをもっと知ってもらう・子育て世代や若者の団体等との話し合いの場をもっと作ってほしい。
- 5) 地元役場職員枠の採用・地域を思う、地元若者の役場職員枠を。
- 6) 夢をいっぱいもって挑戦する・若いうちに、いろいろな事に挑戦したい。
- 7) 公務員になりたい・公務員講座を開いてほしい。
- 8) 一人暮らし・町内で暮らし続けたいが、一人暮らしをする場所が少ない。
- 9) 西伯・会心の壁をなくす・小学校や中学校での定期交流会の開催。

### 荊尾芳之 議員コメント

私が、共感を覚えた1例は、高校生から、いつどんな災害が発生するか分からないが、普段からの備えが大切であり、そして、「もしも発生した場合は、命を守る行動を皆でとることが一番重要だ」という意見でした。そして、いざ災害が起きた時、大人だけではなく、高校生や若者はとても重要で大きな役割を果たすということ。普段から、家族の中での話し合いや地域活動への参加が重要だということの共通認識ができました。地域防災にみんなで取り組みましょう。



様々な提言や要望が出ました。議員との意見交換で青年の町に対する思いが伝わりました。青年の皆さんご参加ありがとうございました。

### 高校生サークル・新☆青年団から

【若者の意見を反映させるためには】

- ① 先ずは、こういった機会をもっとつくる。
- ② 参加した若者、そしてそれを実行するサポートを本気になってほしい。
- ③ 必要なことは生の声である。意見を気軽に出来る機会と統計を取るのも良いと思う。
- ④ 町のホームページやスーパー・公民館などに目安箱を設置する。
- ⑤ 高校生サークル・青年団の人は、南部町大好き人間が集まっている。なんでも協力してくれると思う。
- ⑥ 毎年このような議員との意見交換会を開き、3年に一度「青年議会」を開催すれば良いと思った。

## 高校生サークル(With You 翼) 新☆青年団(へんとつくり) 「青年との意見交換会」を開催報告

南部町議会改革調査特別委員会では、議会基本条例に定める、第4条「議会の責務」と第5条「議員の責務」に基づき、1月25日(土)天萬庁舎で高校生サークル5名と新☆青年団5名と議会議員との「意見交換会」を開催しました。

「意見交換会」はテーマを設定し、青年からの声に意見を交換しました。



## テーマ1「南部町に関すること」

- 1) 生産性が悪い・行政の無駄な事務仕事が多いと考えている。
- 2) 武器を磨く・南部町と聞いてもパッとイメージがわからないので、花回廊や緑水湖など、未来に繋がる資源に視点を持った政策を進めてほしい。
- 3) 海外研修先の選択肢を増やしてほしい・西洋文化を体験したい。
- 4) 情報発信力・SNS等の活用で町の認知度を高める。
- 5) 有償ボランティア・土・日曜日に気楽に参加できる、有償ボランティアで高校生を活用する。
- 6) コンビニの偏り・コンビニもいいが、おしゃれな図書館とカフェなど相まった、若者が集える場所が欲しい。
- 7) 歩道の整備・通学路を含む歩道(天津地区内)の整備を求める。
- 8) お土産・町の特産品がどこでも(スーパー等)買うことのできる対応。特に「竹するめ」!
- 9) Wi-Fiの整備・町内の通信環境が悪い。Wi-Fi等の整備で町の情報が知り得る環境を整える。
- 10) 山・山に囲まれて生活をしていて、農林業の担い手不足が深刻であると感じている。若者に対する情報発信不足だと思う。

町報や議会だよりなど情報提供(広報等)では、若者は紙媒体での情報はほとんど目にする事はない。SNS等を活用し発信する。高校生サークルや新☆青年団に情報提供することで、若者に情報を広く伝えることもできる。青年からの現状と提案が議員にとって衝撃的でした。



### 真壁容子 議員コメント

青年から「人として失ったらいけないものはなにか」の問いに、我に返られました。自分の生き方を問われました。こんな時間を青年たちと共有できた爽快感は久しぶりでした。ありがとう。

### 高校生サークル・新☆青年団の感想

通学定期券補助のおかげで、倉吉の学校に行くことができました。同級生には「いいなあ」と言われます。その時は南部町を誇りに感じる事ができた。  
・議員の方の話を聞き、自分の意見や考えの発展ができたと思う。深く掘り下げたアドバイスで視野が広がった。





## 二十歳の誓い



1月12日（日）、開園20周年を迎えたとっとり花回廊で令和元年度南部町成人式が行われ、98名の新成人が大人の仲間入りをされました。この若さとパワー、成人式当日のまぶしい笑顔をこれからの南部町に活かしていただきたいと思います。

### 恩返しと自己実現

吉持 あゆみ

今、私たちは、人口減少社会の真ただ中を生き、様々な自然災害にも直面する時代を迎えています。このような社会の中で私たちにできることは一人一人に与えられた役割をできる限り果たしていくことだと思います。できることはそれぞれ異なっていますが、よりよい南部町、日本、地球へと変えていきたいという共通の想いを持ち、取り組んでいくことが、私たちをこれまで育んでくれた社会への恩返しにつながると思っています。

また、それと同時に、未来を切りひらく力を養い、一人の人間として日々成長し、個々の夢や目標を叶えていけるような自己実現の力を持った人間になりたいと思います。



今年の成人式も高校生サークルや新☆青年団が餅つきや餅まき、第2部の進行をするなどして会場を盛り上げました。



### あとがき、

新年明けましておめでとうございませう。今年には鼠年です。干支が十二年でひと回りして最初の年にもどりましました。より一層新たな気持ちで沸いて来ます。今年にはさらに前進することを目指します。

今年には、東京オリンピックの年です。鳥取県からすでにオリンピック出場を決めている水泳飛込の三上紗也可選手やエアラィフル射撃でオリンピックへの出場を目指している中口遥選手など、期待の選手がたくさんいます。是非、栄光をつかんでいただきたいです。鳥取県から世界へ、私たちが応援しましょう。選手への声援が大きな後押しになります。ガンバレ日本。

(荊尾)

#### 広報常任委員会

委員長

副委員長

委員

|       |      |       |      |       |       |       |      |
|-------|------|-------|------|-------|-------|-------|------|
| 荊尾 芳之 | 景山 浩 | 井田 章雄 | 板井 隆 | 白川 立真 | 長束 博信 | 滝山 克己 | 加藤 学 |
|-------|------|-------|------|-------|-------|-------|------|